



刊夕日一十三月二十



発行所  
石城郡平町大町二丁目  
新いわけ新聞社

### 年頭の辭

乾坤一轉また春を迎ふ、吾れ等は先づ初日と共に遙かに皇城を拜して聖壽の高歳を祝ぎ奉り次へて國家の無窮を祈禱し、第三に家門の幸福をよるこ。

年去り年來たるもの敢て珍らしと云ふに非ざるも古き生活を清算し、新しき生活に踏み出す門出の今日は何となく清々しく、端を改めて修羅の巻は淡々と變じ、吾れ等に理想を與へ樂園を與へて敗者も勝者もなく一杯の屠蘇に新鏡の氣を練り活動を奮はしめる、實に希望に満つるものは元旦の朝だ、

然り而して靜かに顧み、靜かに想を馳すれば内には關西地方に於ける風水害、東北各地の凶作、政府に應急の施策あり、受難の同胞に自奮自勵の健氣ありと雖も瘡痍未だ容易に癒えず外には華盛頓條約の廢棄に繼いで軍縮會議の結果を見越されるものあるが如き次に來たるものは果して何か、

非常時は更に非常時を加へて吾れ等に何を教へつゝあるであらう、時局は確かに一方に於ては愈よ危機迫るものあるも若難は吾れ等を磨く砥の如き古語に誤るなし、他方は正に是れ飛龍天に沖せんとする好機、此の秋にあつたつたのむ所ものは力、力とは何ぞや、事に臨んで要意あるもの、官憲黨派の一切を拂拭して同胞に差別なく凝つて百鍊の鐵となる舉國一致、即ち強力なる日本であるものそれだ、

之れなきもの、強がりや空疎なる怒號に過ぎない、これあらば徒らに怯えるを要さぬ、吾れ等は年の初頭に於て吾が國民に更に強く更に強かれと一と際際高らかに一言する。

### 市制施行を目指して 内容充實に着々準備

年頭の一言 青沼平町長

靜かに昭和九年を顧みまするに世界平和の機構たる國際聯盟は其の權威を失墜し不戰條約も名實相悖せず世界平和の維持に最も適切有効なる軍縮會議の豫備會は英京倫敦に於て會談中でありましたが舊臘十二月十九日に至り豫備交渉を休止し又華府條約は豫に會議の當時に比して今日は全く國際情勢を異にし、即ち滿州國の出現及國際聯盟退却は極東の情勢を變化せしめたのでありまして該條約廢棄通告の御諮詢案は舊臘十二月二十一日の閣議に於て最後の正式決定を見るに至りまして本年は我國の危機を叫ばれつゝあります蓋し千九百三十五年の重大時局に遭遇するのであります吾々國民たるもの皇運を扶翼するの任更に一段の重きを加へ聯盟離脱に關し喚發あらせられまして大詔の聖旨を奉還し各其職に淬勵し國家永遠の興隆を企圖遂行し廣大無言なる天恩の萬一に酬ひ奉るの至誠を盡さねばならぬと信ずるものであります、

併て經濟界の情勢は軍需品工業が地方的に刺激を與へ昭和七年以來の區政事業は地方の自力更生を促しましたたが致年來世界的經濟不況の影響は我國農村の疲弊、中小商工業者の困窮甚極に達しました折柄偶々風水害其他非常の災厄頻發し殊に天恩の澤き我東北各縣に於ける就中本縣會津方面の冷害凶作及飢饉の暴落は甚極状態に達せざるものがあるものであります、畏れ多

謹賀新年

印刷部 大庭義樹

編輯部 外半谷政喜

外半谷政喜 同喜

新いわけ新聞社

悪水の被害を蒙ることなく其の効果の著しきを認めらるゝことは悦ばしきことであります更に都市計画法に依る平町都市計畫事業は内務大臣の指定に依り順調に進捗しつゝありまして今や發展の途上にある吾平町も市制施行を目標と致しまして舊年末之が調査機關を設け具體的調査を進行せんとする準備中でありまして、更に教育に關する設備は町勢の進展に伴ふ就學児童増加の趨勢に依り前年來の懸案たる第四小學校の設置、及圖書館の施設、其他公會堂の建築町役場の改築道路の舗裝下水道の計畫、工場の誘致等緊急を考慮し鋭意其の準備を進めつゝあるものであります、而して多年地方民の熱望しつゝありました平、小名濱間國有鐵道も昭和十年度に於て測量に着手せられ引續き着工の筈でありまして小名濱港完成と同時に開通を見るに至ると存じます、斯く算へ來りますれば平町の前途益々多きを思はしむるのであります、さて我平町は須らく舉町一致今後の發展向上に邁進せねばならぬと信ずるものであります叙上申述べました如く我平町は町政諸般に亘り逐年施設の多きを加ふると共に此の重大なる時局に鑑みまして地方自治の機能を發揮いたし夙夜精勵國防に産業に、教育に、衛生に向一層の努力を拂ひ進んで帝國の隆昌と本町の發展を圖り以て優渥なる聖恩に酬ひ奉らんことを念願して已まぬものであります、以上聊か雜言を陳べて祝意を表する次第であります、

護賀新禧

入山採炭株式會社  
坑業所長 吉田宗雄  
石城郡湯本町

磐城炭礦株式會社  
鑛業所  
石城郡内町

古河炭礦  
石

濱三郡木炭  
同業組合長 早川

石城郡町

石城郡町

片倉製糸株式會社 平  
電話

土木建築  
請負業 渡邊長  
福島縣湯本町

常磐線  
平驛前 平運輸株式會社

平町古鍛冶町 木澤常松

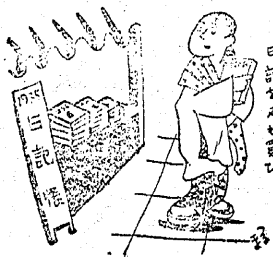
### 百萬を遙に突破

### 平局の賀状大洪水

### 平町民一人平均十四通の發送

特別取扱の開始以來連日賀状の大洪水にさらながら戦場の様な光景を呈してゐた平郵便局の取扱最終日である二十九日の如き一日で十五萬八千餘通の持ち込みがあり前年の同日に比して二割七分の大増加を示したが取扱期間中の受付到着中綴別に見ると（括弧内は前年）

- ▲受付三十六萬二千二百五十五通（三十一萬九千四百三十三通）
- ▲到着二十七萬五千五百三十三通（二十三萬五千五百三十三通）
- ▲中綴五十六萬三千三百七十七通（五十三萬九千九百三十一通）五分増加



三日だけつづき  
日記をくもる  
日記をくもる

### 梯子乗りの妙技

### 平消防組出初式

### 新春行事の彩華

### 達磨落としや模擬火災

### （町政管見）

多田井美次郎

平町初春行事の彩華、平消防組の出初式は層層分未だ豊な四日午前七時から恒例通り舉行される、此の早朝午前六時を破る一點打撃鐘によつて平署前に全員集合揃ひの祥々も雄々しく涼々しい全員百五十餘名が整列井上組頭の點検を受けて後全隊三班に分れて出動獲得の梯子乗りの妙技を公開しながら全町を練り歩き午後一時博覧會場跡の廣場で模擬火災、遠慮落しの放水試験で出初行事を終り午後三時から茶室館で優良組

青沼町長、横山平署長以下の來賓を迎えて盛大な新年懇親宴を催す筈である

在平各學校拜賀式  
在平縣立警城中學、磐城高女平商業、平第一、第二、第三各小學校を始め官私立各學校

八幡宮祈禱式  
平町八幡小路鎮座縣社飯野八幡宮では今日午前八時から元日祈禱式を執行する

### 一九三五年への待望！

### 炭界の爆發景氣

### 依然苦況續きの農村

逆巻く怒濤にも似た軍需インフレの潮に乗つて喜びの中に越年した常盤炭界は絶えて久しかつた好況の聲に山と言ふ山、人と言ふ人、喜色に包まれてゐる、一九三五年の新炭を迎えて此の喜に浸る各炭礦では舊曆二十九日ワシントン條約正式破棄通告による米國輿論の硬化から軍需工業の隆昌を見越して早くも大出炭増加の計畫に着手新春早々事業の擴張労働者の大募集を發表せんとしてゐる向多く此處暫くは炭界の黄金景氣に全常盤文字通り壓倒されるものと見てよい



非常時の仕事  
非常時の仕事

潮流變化による不漁續きで越一月だけに新正月への待望は新年したが由來豊漁山村は舊正しく平月と殆んど變りない有様

### 極貧戸に卅圓の搗餅

### 平町救世軍の慈善鍋

救世軍平分隊では歳末の街頭に慈善鍋を吊し極貧者慰安の同情金を集めてゐたが金三十圓を得たので搗餅を贈りたい意向の下に三十一日平町役場に該當者を打合せ同町庶務主任の示した町内三十戸の極貧者に同金額の搗餅を當日午後夫々適當に贈與した

### 山田村の俵米品評

### 出品米の共販

石城郡山田村では舊曆二十五日から二十七日まで新築の農業倉庫内に俵米品評會を開き穀檢勿來出張所石川主任の審査により二百十二俵の出品から左記を撰別撰買し最終二十七日出品米全部を共同販賣に付した



米の品評  
米の品評

（無愛）秋山乙次（常穂）鈴（愛國）五號（鈴木）一男 ▲二（無愛）秋山乙次（常穂）鈴

最後の案件は行政區域の廣狹でありますが廣大過ぎるが如きは吾等の希望するものではない、何とならば純農村を多分に併合する場合に於てはその施設、經營に容易ならざるものがあるが爲めであるのみならず、農村本来の進展、美法も視察、見學に全員出動の如きは賛意を表するものではなからぬ、故に私は市制施行力を以つて市制施行の準備成る時こそは各部門に於て自治的に大平市建設の成案が出現するものと信ずるが爲めである

の政界、其の死亡すれば即ち其の政壇に於ては即ち市建設を目標に努力せねばならぬことは勿論であります、本町には第四小學校、公會堂グラウンド、役場の新設、下水道の完備等々の懸案あり、他方には五十萬の借債等、財政に、施設、經營、に誠心多事多端ではあるが、幸なるか修正を如何になすべきか！！平町が有する財力、諸般の施設、行政方針こそは之を解決するクロスワードでなければならぬ、故に私は市制施行力を以つて市制施行の準備成る時こそは各部門に於て自治的に大平市建設の成案が出現するものと信ずるが爲めである

### 初ゆめ

### 満壽莊主人

枕頭人あり童顔白髮混丹のと云ふ壁の下より志士と云ふ

「ウム面白いぞ僕も居座を飲み過ぎてハイロシヤにならん用心せよやならん」

「社オレトローキー」  
「坊やが盗まれた」  
主演 トロチア、ウイーク、ヘイ、ル、ロイ

謹賀新年

### 恭賀新年

福島縣農試農場 石城分

齊藤泰 矢ヶ崎

平町長 青沼鋒

貴族院議員 金

衆議院議員 比佐

衆議院議員 小味

衆議院議員 野崎

衆議院議員 阿部

衆議院議員 井上

衆議院議員 赤津

衆議院議員 佐藤庄太郎

衆議院議員 江口忠一

衆議院議員 伊關房次

星眼科醫院 大和田醫院

### 初ゆめ

満壽莊主人

枕頭人あり童顔白髪泥丹の冠りを頂き白衣に漆黒の短袴を着け秀麗にして神仙の状あり徐ろに口を開いて曰く

汝満壽莊常に風雅に遊ぶと稱して對たわ言を吐き散らすが今年の御勸題を何とか見る我はこれ御題中の鶴の精なり汝の腰折れを聞かんとてわざとこゝに現はれたらいかにかや如何に

とせまられたので「ハッ」とばかりに一轉して

池邊鶴

いととけし池のみきはに離つれて あさるやたつも心のとかに

と申上ぐれば

「ウムやりおつたナあととはな

「ハ、これはいかで

「自惚れの鏡が池に丹頂のすかた寫して見とれつる哉

「ヤ、ひやかすな

と姿にも似ぬ悪口を聞きつゝ消え去りしあとへぬつと出て来たは肩から直ぐに頭と云ふ頭の短い男

「コウ何をつまらねえ野だは言を並へて居るんだ、今年あおらの年だ何とかがやつて見てくんねえ

「コレハ、かしこまりました

非常時は鼻あらしにて吹飛はし、ましくら奮い進め家のとし、とはどうですか

「アハ、うめエウめエ

「アラ御勸題だの年のえとはかりで私達新年の精ばかりつまらないワ

と云ふ女らしい聲これにも一音なかるべからずと

松飾る軒端に仰ぐ富士が嶺の千とせ雪を照らす初月波のうつと膨れかゝやふ初日の出

「アラ、俳句迄私感して」

### 精神病者の珍ドロ

#### 火の見るの警鐘を盗む

#### 梯子の途中で消防手を探合ひ

石城郡大浦村の大森宇高野一猪狩秀男(三三)は今から六年前に精神を異常し家族の監視中である去月三十日午前十時頃行方不明となつたので同家に於て八方捜査中とのところ同日午後六時頃内湯本町船場地内火の見櫓に登り頂上の電燈を消して警鐘を取はずし下りて来る折柄夜警當番の消防手が電燈が消えたので不審に思



ひ梯子に登つて行く途中右の泥のとおし少時間もみ合つた後引却して何故の窃盗かをたゞして見ると下へ却して叩いて見たいのだと語るのみで要領が得ないため湯本駐在所に引渡し取調への結果態度が

### 正月の陣映画

平町映畫界も附近炭礦の好況に恵まれてか最近どの館も活氣を呈して来たかの感あり殊に正月を控えての此處二、三週、一年中最大の書入れ時とあつて館員一同觀客吸引に躍起となり宣傳戦に力を注いでゐる、まづ松竹系の世界館のフロから見るに

第一週  
松竹オールドキー  
「新婚旅行」

第二週  
日活オールドキー  
「剛ちやんの人生日記」  
「血煙天」  
「メトロ」

第三週  
日活オールドキー  
「新婚旅行」

平館  
ユニヴァサル全盛  
「S.O.S. 永山」  
「指輪」  
「ロビン」

松竹下加茂特作  
「香鍋時」  
「次郎」  
「次郎」

バ社オールドキー  
「坊やが盗まれた」  
「坊やが盗まれた」  
「坊やが盗まれた」

- 衆議院議員 鈴木辰三郎
- 縣會議員 石川徳壽
- 縣會議員 萩原義雄

### 謹賀新年

次に調査、研究に關する方ならず、農村本來の進展、美法も觀察、見學に全員出動の風に大影響を與ふるが爲め、如きは賀意を表するものではあることを思ふのである、以力をもつて市制施行の準備成るものなるが故に具体的所見を調査會は平町自治体が獨自の實力を以つて市制施行をなし得る諸般の實力調査に調査、研究するものと信するが爲めである。

- 四倉町長 新妻盛
- 四倉漁業組合長 菅波末吉
- 四倉町 長谷川長太郎
- 四倉町 三星油槽所
- 四倉町 關彰油槽所
- 四倉町 佐藤仲商店
- 四倉町 平支所
- 四倉町 松本己之次
- 四倉町 吉田勝彦
- 四倉町 丹忠義
- 四倉町 鈴木榮一
- 四倉町 和泉田友江
- 四倉町 芳賀三郎
- 四倉町 菅野左三
- 四倉町 石川初代

### 謹賀新年

- 平町會議員研究會
- 井上茂 作
- 花澤久一 治
- 小野伊文 治
- 川崎文 治
- 高橋亀松 治
- 多田笑次 治
- 根本品 治
- 馬目武之助 治
- 松崎長太郎 治
- 會川延太郎 治
- 佐々木龍若 治
- 關内正吉 治
- 鈴木光吉 治

### 伊關房次

- 堀江工業株式會社
- 平町才樋小路 電五九
- 星眼科醫院
- 大和田醫院
- 大森醫院
- 大河内整骨院
- 金成忠義醫院
- 根本醫院
- 矢吹醫院
- 松村醫院
- 藤沼醫院
- 酒井醫院
- 白土醫院
- 志賀醫院
- 鈴木醫院
- 吉田醫院



### 農村に投機は禁物

#### 堅實な歩みで行く

冷害害何クソの猪突はよいが  
盲進では駄目、養畜を農業経営に

#### 石城郡農業田技手の談

農村方面に對して年の初め間と努力が資本である、なぜか云へば農業には体験なしに出来る仕事は一つもない、そうした仕事に携はる農業が無経験で多額の資本をかけることは甚だ危険である、澤山の資本を投じてやる仕事それは農業でなくして商工化したものである、農村に投機的な頭は大禁物だ、今日の農業を誤らしたものはそれが大なる原因であつた、養畜を奨めた原因の考へに一つの例を上げれば此所に養畜を飼ふとして二頭乃至三頭を飼ふには百圓位の元手が入る、其所で之れを飼つて見やるとするならば三年後に實現の計畫を建て、最初一圓位の資本で仔鹿五、六頭を買ふ、其れを春の草の出る頃から八月月間草ばかりで育てても一頭八十錢位には賣れる、六頭で四圓八十錢の第一年收入を得たなら其れを元手に二年には豚の仔一匹を求めて全然自家から出る飼料だけで六ヶ月育てれば瘦せた成豚でも十二圓にはなる、其れを十割で買れば十二圓の資本を得られるから後期の飼養に五圓づつ一仔豚二頭を買つても二圓残る譯だ、其所でまた六ヶ月間に十二圓の成豚二頭を十割で買れば二十四圓の金が這入る之れが第二年度の収入である、次に其の資本で四頭の仔豚を求めても一頭五圓づつとして二十圓、其の年の残金四圓と前年残りの資本を合せて六圓の資金が

まだ手にあるであらう、斯し初に於ける細半飼養に移る様で第三年目に繰返す飼養収入を以て出来た資本で先づ細半でなければならぬ、投機的で仔豚を十五圓位で購ひ傍らに農家は到底完全に育つものを経営する豚を飼養しながら最ではない

## 謹賀新年

### 平消防組幹部

- |      |        |    |      |
|------|--------|----|------|
| 組頭   | 井上茂作   | 小頭 | 田中宣治 |
| 副組頭  | 關内正一   | 長  | 浦井兼作 |
| 庶務部長 | 鈴木長三郎  | 根本 | 幸次郎  |
| 會計部長 | 堀江正茂   | 阿部 | 治作   |
| 第一部長 | 酒井清    | 金成 | 泉一郎  |
| 第二部長 | 岡田政次郎  | 織田 | 萬次郎  |
| 第三部長 | 鈴木彌太郎  | 草野 | 喜一   |
| 小頭   | 三井富吉   | 菊田 | 萬吉   |
|      | 高根澤長太郎 | 阿部 | 正壽   |
|      | 佐川三良   | 片寄 | 正壽   |

### 磐城平町 藝妓屋組合

### 料理屋組合

### 西洋料理組合

### 旅館組合

### 良品廉賣に

## 釜屋商店

優る商略なし

### 三井自動車部

### 小松履物店

最新 自製桐材 流行 自製專門

### 吉村安次郎

電話二五七番

### 山崎合名會社

電話一〇番

### 平看護婦會

### 磐城共濟病院

電話六四一

### 小錦

石城郡高久村

### 白萩

石城郡高久村

### 三二二屋肉店

電話四九三

### 平庶民金庫

電話七九三

### 平營業所

電話七五六

### 明雲堂眼科醫院

電話六六九番

### 石城郡 銀行 組合

本炭問屋  
草野米彌商店

### 平製氷株式會社

社長 木村清治

### 山崎登

中島寫眞館

### 安島重三郎

齊藤寫眞館

### 多田井質店

電話五九一

### 木村病院

電話二六四番

### 高橋龜松商店

電話六三八番

### 出初式

四倉消防組では昨六日午前八時同町小學校庭に於て出初式

### 小松履物店

電話六七三番

### 三井自動車部

電話六八五

### 釜屋商店

電話六七三番